

～平成29年度主要施策～

第5次総合計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略将来像

清流木曾川に抱かれた“ひと・まち・自然”輝く創造文化都市

① 町民の生命と財産を守る強いまちづくり

ハード・ソフトの両面から防災・減災事業を積極的に進め、地域と連携した防災体制の強化を図ります。

新規事業

自転車駐車場管理運営事業

702万円

笠松駅、西笠松駅の自転車駐車場に防犯カメラを設置し、利用者が安心して利用できるよう整備を進めます。

耐震診断・改修助成事業

296万円

有事に備え、高齢者や障がい者など自力避難が困難である方を対象に耐震シェルターの助成を行います。また、前年度から継続で木造住宅の耐震診断・改修工事の助成を行います。

地域生活安全推進事業

6万円

防犯対策の強化として、青色回転灯装備車を活用したパトロールを実施し、安全で安心して暮らせるまちを築いていきます。



地籍調査事業

1,183万円

災害復旧の迅速化に繋がる地籍調査を平成27年度から継続して実施します。

自主防災組織育成事業

112万円

各地域の自主防災会が防災資機材を整備する事業に対し財政支援を行い、地域の防災力向上を図ります。また、子育て家庭向け防災講話を実施し、自助、共助による防災体制を目指します。

排水路改良事業

1億141万円

ゲリラ豪雨などの水害対策として、平成24年度より進めている笠松町流域関連公共下水道雨水計画を継続させ、雨水貯留施設の整備を進めます。

防災備品管理事業

575万円

笠松町地域防災計画に基づき、避難所生活の快適さを考慮し、備蓄品のアルファ米や飲料水などを更新します。